科目名	ゼミナール	英語科目名	Seminar
開講年度・学期	平成２１度・通年	対象学科・専攻・学年	電子システム工学専攻（電気情報系）１年
授業形態	実習	必修 or 選択	必修
単位数	２単位	単位種類	学修単位（９０ｈ）
担当教員	担当教員	居室（もしくは所属）	電気物質棟１階・２階・専攻科棟５階
電話		E-mail	

授業の達成目標

１．　問題意識を持って事に当たり、自らその解決方策を調査・検討できること。
２．　調査内容に基づいた討論・主張等を展開し、要点を整理する能力を身に付ける。
３．　調査結果をまとめ、かつ、他に伝達する能力を身に付けること。

各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法

１．テーマに関する適切な教材の入手および活用要領を評価する。
２．論理の展開に筋道を立て、要点を整理する能力を評価する。
３．適切な発表方法を選択し、自分の主張を第三者に正しく伝えるコミュニケーション力を評価する。

評価方法

テーマに関する適切な教材の選択要領および理解度、発表方法・要領・内容について理論的、技術的観点から総合的に評価する。

授業内容

基本的には、特別研究・指導教員の指導の下に実施する。
主なテーマ（指導教員）は以下の通り。
〇電子材料の基礎物性とその応用に関するテーマ（森）
〇レーザの波動とエネルギーの応用に関するテーマ（土田）
〇人間の聴覚特性と音響信号処理（小林）
〇電気機器，電磁界エネルギーに関する基礎と応用に関するテーマ（鈴木）
〇データベース構築技術(今成)

キーワード	半導体薄膜、電子・光特性、信号処理、レーザ応用、電気機器，電磁界エネルギー
教科書	
参考書	
小山高専の教育方針①～⑥との対応	⑥コミュニケーション能力と国際感覚の育成

技術者教育プログラムの学習・教育目標

(A-1)　科学や工学の基本原理や法則を身につける。
(D-2)　実験や調査結果を口頭発表して議論できる。

JABEE 基準１の（１）との関係	(b),(c),(f)

カリキュラム中の位置づけ

前年度までの関連科目	
現学年の関連科目	
次年度以降の関連科目	

連絡事項

１．配属された研究室の指導教員の指導の下で、調査・討論・プレゼンテーション等を行う。
２．ゼミナールの内容は特別研究を遂行する上で基礎となるものであるから、各分野における理論的・技術的背景を理解するとともに、研究へのアプローチを学ぶこと。外国の文献に親しみ国際感覚を身につけることも大切である。

シラバス作成年月日	